




たがみまち ふれあいネットワーク

“春のたすけあい訪問”

町内の施設を訪問しました。
(詳細は4ページ)

社協だより

第153号

令和3年3月26日 発行

「社協」は 社会福祉 協議会の略称です。

〔編集発行〕

社会福祉法人
田上町社会福祉協議会

住 所 田上町大字原ヶ崎新田3071
 TEL 0256-57-5877
 FAX 0256-57-5073
 URL <https://care-net.biz/15/tagami-shakyo/>

田上町社協



この社協だよりは共同募金の配分金の助成を受けて発行しています。



皆様の募金が役に立っています

地域のいきいきサロン紹介⑫

いきいきサロンは、高齢者をはじめ地域の方が気軽に集まれる場で、仲間づくりや健康づくり、世代間交流など地域の輪を広げいきいきと生活することを目的に住民主体で実施しております。実施している15地区のサロンをご紹介しますので、お茶飲みに足を運んでみませんか。誰でも参加できます！現在コロナ禍により各サロンで開催状況が異なります。詳しくは社協にお問い合わせください。

川船河いきいきサロン

川船河いきいきサロンは「楽しくいきいき」を目的に、川船河公民館で毎月第3金曜日の10時から15時まで楽しいひとときを過ごしています。

午前中は、紙芝居や絵本、手遊びを楽しんだり、ピアノの先生の伴奏で唱歌を歌いながらリズムに合わせて身体を動かしたり、脳トレや運動不足の解消を目指し楽しくやっています。また、月によっては講師をお招きし、「詐欺被害防止」や「認知症」「薬に関する事」など色んな講話を聞いて、日常生活での不安や健康について話し合っています。お昼にはお弁当と旬の野菜を使ったお味噌汁をいただき皆さん笑顔で食事を楽しんでいます。



毎年9月には会員の方の指導で「竹細工」など作品を作り、10月の町文化祭に出展しております。力作揃いでなかなかの出来栄です。

しかしながら

今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため一度も開催することができませんでした。私達のサロンは高齢の方が殆どですので、三密を避けるとなると開催は難しい点があります。この状況でもできることを考え、2ヶ月に一度位でしたが、会員宅に伺ってお知らせのチラシを配りました。会話をしながら、皆さんの笑顔を見て安心して頂くことができました。



そして、予定していた12月のクリスマス会も中止でしたので、サンタさんからのプレゼントを企画し、ささやかではありますが全員のお宅にお届けしました。とってもステキな笑顔をいただきました。

私達のサロンは協力者の方々を含め18名で、いつも「笑い」ありの和気あいあいサロンです。大いに笑って免疫力を高め、人生100年時代を「楽しくいきいき」と過ごせたら幸いです。

いつも協力して下さるボランティアの方々感謝するとともに、「コロナ感染症が早く終息することを願っています。」

協力者 小柳るみ子

赤い羽根共同募金助成金公募

田上町共同募金委員会では、赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金を財源とし、地域活動に対して助成を行います。

	「赤い羽根共同募金」助成金公募	「歳末たすけあい募金」助成金公募
助成財源	令和3年度赤い羽根共同募金の配分金を財源とし、令和4年度に行う地域活動に対して助成を行います。	令和3年度歳末たすけあい募金の配分金を財源とし、令和3年度の歳末期間に行う地域活動に対して助成を行います。
助成対象	田上町内の福祉団体・ボランティア団体、自治会、学校、幼稚園・保育園	
助成内容	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等が行う小地域での福祉推進のための活動費 地域福祉を目的とした福祉団体やボランティア団体などの活動費 特に社会福祉の増進に寄与するものとして当会が認めた事業 	
事業期間	令和4年度 令和4年4月1日～令和5年3月31日	令和3年度の歳末期間 令和3年11月～令和4年3月
助成交付	令和3年6月頃	令和4年2月頃

○申請締切 4月23日(金)まで

○申請方法 申請書類は田上町共同募金委員会(田上町社会福祉協議会)窓口で配布しております。提出は、郵送または直接持参(平日8:30~17:30)してください。

※田上町共同募金委員会 助成審査委員会で審査を行い、助成先・助成額を決定いたします。

【問合せ申込み先】田上町共同募金委員会(田上町社会福祉協議会内)

〒959-1503 田上町大字原ヶ崎新田3071番地 ☎57-5877

----- ボランティアセンター通信 ⑫ -----

町内には様々な団体が地域活動を行っていますので紹介します。興味のある方、活動してみたい方はぜひご連絡ください。

【問合せ】地域福祉課（センター事務局） ☎57-5877

川之下ボランティア会

会長 藤原 修

川之下ボランティア会は今年度で5年目を終え、4月からは6年目を迎えます。会員は男女合わせて17名で活動しています。

活動内容は、小学校低学年の下校パトロールに13名の男女の会員が毎日2名1組で参加しています。子どもの安全・安心を心掛けて小学校から自宅までの見守り活動を行いながら、私達は子ども達から元気もらっています。

毎朝の小・中学校生徒の通学時は、川之下大橋前での見守り活動を1名の会員が行っています。子ども達に声を掛けると、子ども達も大きな声で返事を返してくれます。

環境美化活動は、4月から12月までの間、レック公園・川之下公民館・三十刈町道・



榊の坂町道等の除草、清掃に8~10名の会員が参加し年間15~16回程度行っています。

また、一人住まいの高齢者・体の不自由な方へは庭木の枝切り・除草、冬季には近所の方々への玄関先・車庫前の除雪の活動を行っています。今年度は、1月から除雪車の出動が毎日のように続き、皆さん大変だったようです。

広く活動を行っていますが、今後の課題もあるのです。それは、新規会員の確保ができないことです。次世代へのバトンを渡せるよう、皆様方からのご協力をよろしくお願いいたします。

ボランティアの豆知識



今回は、ボランティア活動を行う際にどのような点に気を付ければよいのか、知っておくと役立つポイントをご紹介します。

ボランティアは「いつでもどこでも誰でもできる活動」です。興味や関心を持っていただきたく「ボランティアって何？」の疑問を解消したいと思います。

※社協ホームページ掲載『はじめてのボランティア』から抜粋

活動で気を付けること

● 身近なことから無理をしない

私達の周りには身近な問題が顔を出しています。身近なことから、無理せず自分にできることを行うことが大切です。

● 相手の立場に立ちましょう

良かれと思ってやったのに相手が望んでいないことがあります。常に相手への心配りを忘れないでください。

● 約束を守りましょう

活動を楽しく続けるには相手との信頼関係が大切です。小さなことでも、約束を守りましょう。

● 秘密を守りましょう

施設でも在宅活動でも活動の場ではプライバシーを守りましょう。活動上知り得たことは絶対に口外してはいけません。

● 家族や周囲の理解を得ましょう

活動を無理なく続けていくには、家族や周囲の温かい理解と協力があるこそです。

● いつも謙虚であることを忘れない

「してあげる」「やってあげる」という押し付けや気持ちでは、かえって迷惑になる場合があります。協力者であると同時に対等な関係にあるという気持ちを忘れないでください。

● 安全に注意し事故やケガに気を付けましょう

危険が伴う活動は断ることも必要です。また、活動中の万が一の事故に備え、安心して活動ができるようにボランティア活動保険の加入をお薦めします。（掛金350円 ※令和3年度）

「道の駅たがみ」で

ラジオ体操をやりましょう

4月3日(土)～11月27日(土)の毎週土曜日、朝6時15分から「道の駅たがみ」で行います。雨天も開催予定ですが、悪天候時は中止します。

新年度から健康増進、あなたも始めませんか？誰でもお気軽にご参加ください。

参加は自由ですが、事故等については自己責任でお願いします。

たけのこ体操会 代表 田巻昌良
(全国ラジオ体操連盟公認1級ラジオ体操指導士)



春のたすけあい訪問

248件・7施設に春の訪れを

3月上旬、民生委員の協力により、支援が必要な一人暮らし高齢者や重度障がい者のお宅を訪問、孤立感の解消や見守り支援を兼ねてチューリップ(新潟県産)をお届けしました。また、町内の高齢者・障がい者施設には社協会長が訪問し、花束をお届けしました。利用者の皆さんから一足早い春を感じていただきました。



グループホーム陽だまりの家

善意を ありがとうございます

皆様から福祉に役立ててほしいと、田上町社会福祉協議会へご寄付をいただきました。

寄付者の意に添い有効に活用させていただきます。

2月17日 寄付受付分

- ・カーブス新潟加茂店様 …… 食料品 6箱
- 職員一同、心より感謝申し上げます。



あとかき

清少納言の『枕草子』の冒頭「春は、あけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは少し明りて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。」春が近づくにつれて千年以上前の平安時代の人はこの風を感じていたのだと思ったことがあります。

現代語では、春は、夜が明ける頃がいい、だんだんと白くなっていく山際が少し明るくなり、紫がかかった雲が細くたなびいているのがいい。と訳せるわけですが、時は令和、コロナ禍の夜明けを待つ時間に読書を楽しむのも一興ではないでしょうか。㊦